

①元吉原での被害

1. 安政の大地震（1855年11月11日）

〈被害〉

- ・上下に揺れる→直下型地震
- ・海がさ〜っとひいた。
- ・池の水・・・噴き上がる→池の外へ魚が飛び出る
- ・地面・・・青い泥
- ・昼なのに太陽がおぼろに見える→土煙がたったため。
- ・井戸が止まる（出たとしても青く出る）

→ライフラインが止まる。

〈喜んだ人々〉

1. 大工・・・地震で倒壊した多くの家を建て直すため、お金がたくさん入ってくるから。
2. 蒲原の人々・・・地震によって土地が上がる（隆起）→標高が高くなる→大雨が降ったときに水がよけて流れる。
蒲原はとくにそうだったらしい。こんな詩もできた。

「地震さん 地震さん また来ておくれ
私の代にもう1度
孫子の代に2度3度」

〈悲しんだ人々〉

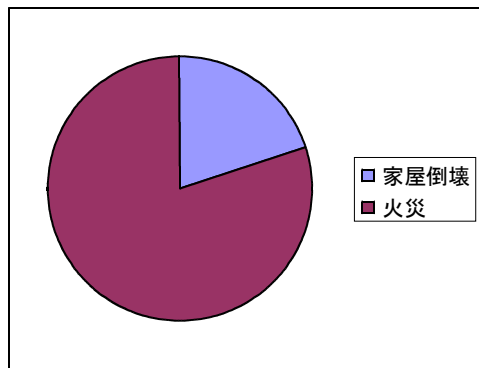
富士の人々・・・蒲原が隆起したため、大雨が富士に流れてくるようになる。また、土手がきれやすくなる。

2. 関東大震災（1913年）

関東地方に大きな被害をもたらしたが、元吉原にも被害は及んだ。

〈被害〉

- ・直下型地震
- ・10万人が死す。（家屋倒壊による死者8万人、火災による死者2万人）
←死者の8割が火災で死亡していることが分かる。
- 〈建物の倒壊〉
- ・電車が走っていたため、中にいておしつぶされた人や、走っていた電車につぶされてしまった人がいる。



〈火災による被害〉

- ・地震による二次災害として、もっとも注意しなければならないことは火災だ。このころの人々は、火が瞬く間に燃え広がってしまったため、川などへ飛び込み、体を冷やしていたそうだ。

②元吉原の危険な面とは？

1. 津波

元吉原は海に面した町ということから、まずはじめに注意をしなければならないことは、やはり津波だ。津波の発生を防ぐことはできない。では津波の来襲を食い止めるためにこの地域には何があるのだろうか。一つ目は堤防だ。元吉原の堤防は、日本一の高さを誇るそうだ。二つ目は、松だ。松は、日常は海から来る風を止めているそうだが、津波が来たときには波を町に流しにくくする働きがあるという。しかし、巨大な波がおそってきたときには、堤防や松もお手上げだろう。



2. 火災

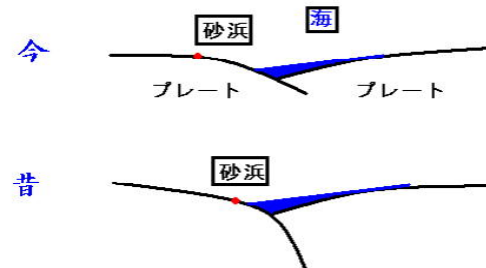
火災など、どこの地域でも気をつけなければならないと思っていた私は、とてもびっくりした。ほかの地域以上に注意をしなければならない理由は、元吉原は一本道だからだ。昔、柏原の方で1件火災が起こったそうだ。すると、瞬く間に隣の家、その隣の家と火の手が上がったそうだ。消防車もたくさん駆けつけたが、炎が大きく前の方へ全然行けなくて燃え上がっていくのに、見ていることしかできなかったそうだ。今までは元吉原が一本道だということには全く気づけなかったもので、いつも歩きなれた道を新しい視点で見ることができた。

③元吉原の海岸

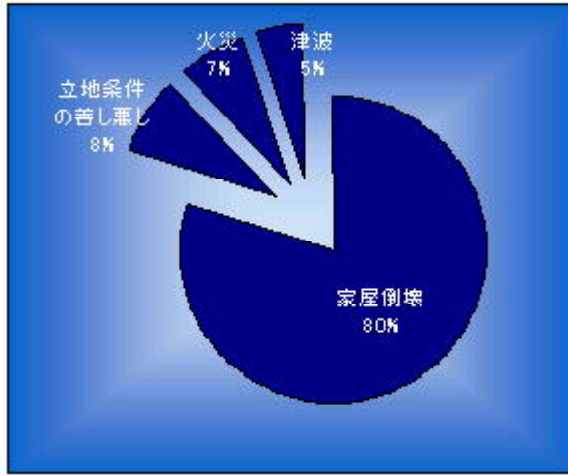
元吉原の砂浜はとにかく小さい。昔と比べると、砂浜の長さが約5分の1になってしまったそうだ。その理由は2つ考えられる。

1. プレートとプレートが押しあつて沈み込むから。
2. 砂を山の方に運んでしまったから。

プレートの沈み込み



④ グラフから見る東海地震



左のグラフは、東海地震が発生したときの被害別死者人数予想をパーセンテージで表したものである。総合死者人数は9200人だそうだ。グラフからは、家屋倒壊での死者数が80パーセントを超えることが分かる。

〈感想〉

このグラフから分かるように、家の耐震度や立地条件が生死を分けそうだ。また私が住んでいる家自体は、大きな地震に持ち堪えられるかどうかは、分からないが、立地条件は悪くはないそうなので、少し安心した。私の家の下には昔砂があったそうだ。それがなぜ立地条件が良い

いといえるのだろう。砂が埋もれていると、地震が起こっても、なかなか動かないそうだ。砂などもろいものだ、と思っていた私はこの理由には少し驚いた。

⑤ 災害の予兆と対処のしかた

災害、特に地震には必ず予兆（予震）があるそうだ。地震では、プレートが押し合っていくと、プレートの中身がぼろぼろと崩れだしてくることがある。それが予震となるのだ。だから、小さい地震が何回も来たときには本震が来るのではないかと思い細心の注意を払うべきだと思う。

また、災害（台風・洪水・地震など）が来たときに、テレビをつけて警報を確認する人が多いのではないだろうか。しかし、実際警報がでて避難する人はごくわずかだそうだ。それにはこんな理由がある。「自分だけは大丈夫。自分には関係ない」と思っている人が非常に多いからだそうだ。津波警報、洪水警報、避難勧告が発令されてもそう思って、避難せず命を落とす人が多いそうだ。多分、避難してあまり被害がなかったら恥ずかしいと思うのが嫌だからだろう。しかし、テレビやラジオの情報を信用し、万が一のことを考え行動しなければならぬと思う。そして、絶対に災害なんかで命を落とさないと思いながら生活していきたい。



東海地震が起こったら、元吉原の町はどうなってしまうのか。



～〇◎流 防災の又々々～